

通常総会

## 新会長のもとさらなる発展誓う 三英傑の人事から見た組織運営を学ぶ

プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会（山田周一郎会長）は5月11日、通常総会を明治記念館で開催、上程された議案を原案どおり承認した。総会後には、東京大学史料編纂所の本郷和人教授が「徳川家康のリーダーシップ」をテーマに記念講演を行った。

総会に先立ち、4月13日の理事会で会長に選任された山田会長が次のように就任のあいさつを述べた。

「プリデジ協は今年度で48年、再来年には50周年を迎える伝統ある団体だ。外部環境は、3年間のコロナ禍での停滞を脱し、経済の回復が期待できる一方、デジタル技術の進歩は加速している。これが業界にさらなる変化を促すことは明らかだ。IGAS2022でも見られたように、今後の印刷物のあり方やデジタル技術に印刷会社をはじめとして業界全体で対応していくことが必要。当会でもオープンに議論し、業界の発展に貢献できるよう情報発信していく。会員の皆さまとともに、業界の、また当会の発展に尽力していく」

2023年度は、組合員に対しては、昨年のIGAS2022に見られたスマートファクトリー化の流れやロボット、AI技術の利活用の本格化などの流れを考慮した講演会などの事業を行う。また、ユーザーおよび関連団体と連携しながら技術・業態の変革に対応した事業活動を展開することで業界の発展に貢献することを目指す。

さらに従来の委員会・部会活動に加え、伸長著しいデジタルプリンティング分野に関する市場・技術動向調査、意見交換を積極的に行っていく。

続く記念講演では、本郷氏が、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の人事を比較しながら、組織における人材活用のポイントを提示した。

4年ぶりに開催された懇親会では、退任した辻重紀前会長に山田会長から慰労金が手渡され、辻前会長は退任にあたり、次のようにあいさつした。



山田会長

「この3年間はコロナ禍もあって思うように活動できできなかったが、6年弱の間、みなさまに支えられて会長職を全うすることができた。お礼申し上げたい。在職中で印象に残っているのは、2018年と2022年のIGASを主催団体として成功裏に終えることができたことだ。いい経験をさせてもらった。IGASでもテーマとなったDXは、デジタル化すればいいというものではなく、技術を活用して、利益を創出していくものだ。プリデジ協の会員のみなさまは、これから本当に、業界での役割が重要になる。また、プリデジ協も活動の幅を広げて、引き続き、業界の発展に貢献していただきたい」

続いて、新任の荻田竜哉理事、酒井俊理事、神前裕樹理事、恵木賢太郎監事が次のように就任のあいさつを述べた。

「理事として、一生懸命みなさまのお手伝いをさせていただく」（荻田理事）、「今後ともよろしくお願ひしたい」（酒井理事）、「当社は6月から『エコスリージャバ



講演する本郷氏

ン』となる。理事として、業界の発展のために貢献していきたい」（神前理事）、「しっかりと監事の務めを果たしていきたい」（恵木監事）

乾杯発声では、須田徹副会長が「現在は、毎年新しい何かが起こり、変化が速い。印刷会社はそれについていかなければならないが、われわれもその変化に追随し、印刷会社を支えなければならない。当会はそういったメンバーの集まりだ。アフターコロナの業界の状況を当会のメンバーがしっかりととらえ、業界を支え、発展に貢献していくための重要な団体だと認識している」とあいさつして乾杯発声し、親睦を深めた。

中締めでは田中志佳副会長が「日本は資源的に恵まれた国ではないが、知恵を活かしてそれを克服していくことが求められている。当会もそうしたところを考慮して、次の世代につなぎたい」とあいさつした。



須田副会長



田中副会長



山田新会長から辻前会長に慰労金が贈呈された

【新任役員】※敬称略

▽会長 山田周一郎（富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)）

▽理事 荻田竜哉（デュボン・スペシャルティ・プロダクツ(株)）、酒井俊（東洋インキ(株)）、神前裕樹（エコスリージャパン(株)）、泥谷謙司（リコージャパン(株)）

▽監事 恵木賢太郎（東レ(株)）



# 新会長に山田周一郎氏（富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)）が就任



プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会は、4月13日に開いた理事会において、退任を表明した辻重紀会長に代わり、山田周一郎氏（富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)代表取締役社長）を会長に選任した。理事会で山田新会長は「皆様に支えていただきながら職務を全うしたい」と抱負を語った。

## 【山田周一郎新会長の略歴】

昭和41年生まれ56歳。平成2年関西学院大学経済学部を卒業後、富士写真フイルム(株)に入社。グラフィックシステム事業部マネージャー、富士星光印刷機材（上海）有限公司、富士フイルム（中国）投資有限公司、メディカルシステム事業部統括マネージャー、グラフィックコミュニケーション事業部統括マネージャー、富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ(株)（現・富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)）執行役員取締役会室室長を経て、令和4年6月より代表取締役社長を務める。

## IGASの成功に感謝 —2022会員の集い

プリプレス&デジタルプリンティング機材協議会（辻重紀会長）は「2022年会員の集い」を12月9日に明治記念館で開催した。会場参加40名のほか、やくみつる氏による特別講演ではオンライン配信を実施。さらに3年ぶりに懇親会も行われ、会員同士がグラスを片手に懇親を深めた。

開催にあたりあいさつした辻会長（当時）は、まず、サッカーワールドカップについて日本代表の活躍をたたえ、「先月はIGAS2022が開催され、3万3,078人に会場をいただいた。当会も会員の皆様のご協力により、主催団体としての役割を果たせたのではないかと考えている。IGASのテーマである『Venture into the Innovation!』、その『Innovation』は当会の主要な領域であるプリプレス、デジタルプリンティングでも重要なキーワードになっており、IGASでは会員の皆様から具体的な提案をしてもらった。当会は、今後も各部会やセミナーを通じて、会員各社に情報提供、あるいは情報発信を行い、情報交換の場を設け、今後の業界の発展ため、しっかりと進めていく」とIGASの成功に対する会員各社の協力に感謝を述べた。

特別講演では、漫画家・コメンテーターとして多岐にわたり活躍するやくみつる氏が「やくみつるの『ここだけの話』」と題して、サッカーワールドカップでの日本代表や大相撲、明治記念館のある四ツ谷・信濃町の話などを絡めながら軽妙なトークで会場を沸かした。さらに、自身が選考委員を務める新語・流行語大賞の秘話も披露し、2022年の年間大賞に選出された「村神様」や、トップ10に選出された流行語の裏話が語られた。



やくみつる氏

講演後は会場を移して着席形式で懇親会を実施。乾杯発声では、須田徹副会長が「今年1年を思い返すとウクライナへの侵攻があり、地政学的なリスクが出てきた。中国と台湾のきな臭い話もある。何が起こるか分からないVUCAの時代と言われているが、先が読めない1年だった。不透明感が増す中で、プリレジ協としては情報共有しながら皆様と業界を盛り上げていきたい」と述べ、新たな年への期待を込めて杯を挙げた。大抽選会などのアトラクションも楽しみながら、3年ぶりの宴席で親睦を深めた。

結びには田中志佳副会長が登壇し、印刷業界での女性と若者の活躍を訴えながら、「本当に大変な1年で、皆様も苦勞されたと思うが、来年は改善することを願っている」と述べ、一本締めを行った。

## 部会の活動

デジタルプリンティング部会が4月11日、富士フィルムグラフィックソリューションズ(株)で開催され、(株)SCREEN GP ジャパン B.I統轄部 ビジネスデザイン推進部の伊藤弘二部長が、2月27日から3月2日にスイスのルツェルンで開催された「Hunkeler innovationdays2023」について報告を行った。

報告では、主催するHunkelerの最新後加工ソリューションや出展した各社のソリューションを紹介。また、ツアーと共に、訪問したスペインの印刷会社でのDXへの取り組みを解説した。



## ジャグラ文化典高知大会 盛大に

(一社)日本グラフィックサービス工業会(岡本泰会長)は6月9日から12日の4日間、高知市のホテル三翠園をメイン会場に「第58回定時総会・第65回ジャグラ文化典高知大会」(坂本圭一朗実行委員長、山中克彦運営委員長)を開催した。全国から385名が参加、山田会長も招待された。

今回のテーマは「揺れる! 沸き立つ! ジャグラグラ」。第65回文化典式典では功労賞、優良従業員、ジャグラ作品展などの各種表彰式が行われるほか、ジャグラコンパクトDX発表会では、ジャグラが進めるDX事業の最新情報が会員に提供された。

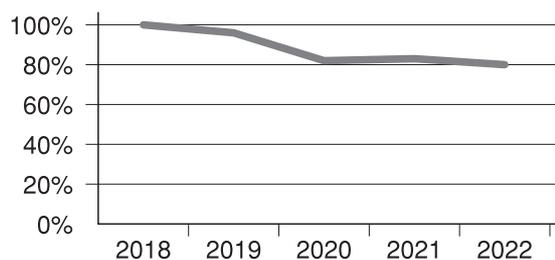


## 今後の主なイベント

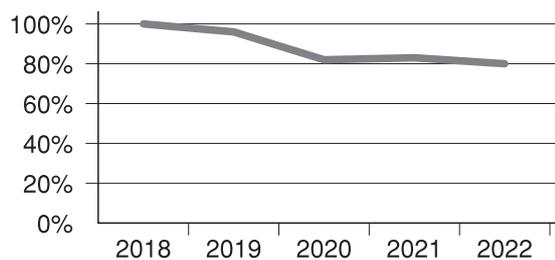
- ・2023年「9月印刷の月・印刷文化典」記念式典  
9月13日 ホテルニューオータニ
- ・JAPAN PACK 2023  
10月3日~6日 東京ビッグサイト
- ・2023 印刷産業夢メッセ  
10月12日~13日 リーガロイヤルホテル広島
- ・2023 全日本印刷文化典広島大会  
10月13日~14日 リーガロイヤルホテル広島
- ・All in Print China 2023  
11月1日~4日 上海新国際博覧中心

## 【感材出荷量推移】

●オフセット版材出荷量推移 (2018年を100として)



●CTP版出荷量推移 (2018年を100として)



●印刷用フィルム出荷量推移 (2018年を100として)

